

コラム②：季節予報とは

季節予報とは、天候等の大まかな傾向を予報するものです。1か月予報、3か月予報、暖候期予報および寒候期予報などがあり、これらは、1か月間あるいは3か月間などの平均的な気温や降水量などを「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級に分けて、それら3つの階級になるだろうと予想される確率を予報します。予報はそれぞれ定期的に発表しています。

季節予報の種類と予報要素など(沖縄地方)

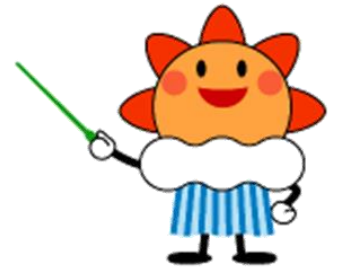
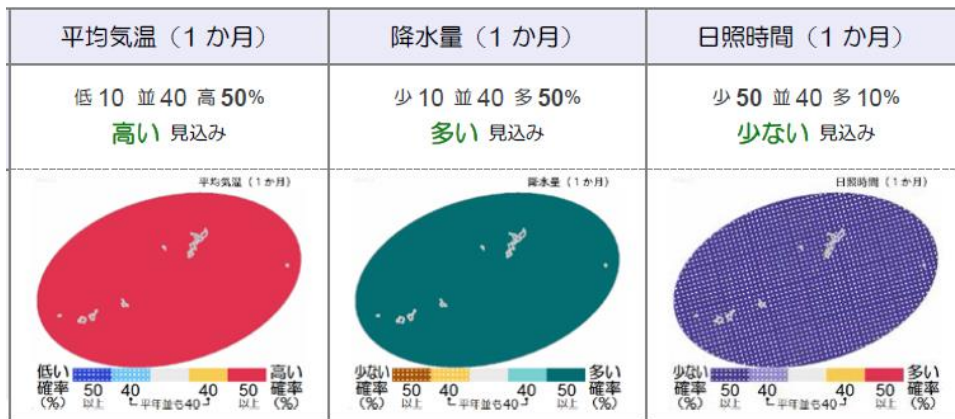
種類	予報する期間	発表日時	予報する要素	数値予報モデル
1か月予報	発表日の翌々日から1か月	毎週木曜日 14時30分	1か月平均気温、第1週・第2週・第3～4週平均気温、1か月合計降水量、1か月合計日照時間	1か月アンサンブル予報モデル
3か月予報	発表月の翌月から3か月	毎月25日頃 14時	3か月と月ごとの平均気温、3か月と月ごとの合計降水量	季節アンサンブル予報モデル
暖候期予報	夏(6月～8月)と梅雨時期	毎年2月25日頃 14時	夏の平均気温、夏の合計降水量、梅雨時期(沖縄地方は5月～6月)の合計降水量	季節アンサンブル予報モデル
寒候期予報	冬(12～2月)	毎年9月25日頃 14時	冬の平均気温、冬の合計降水量	季節アンサンブル予報モデル

(※)5日～8日先を先頭の日とする7日間平均気温が「かなり高い」または「かなり低い」可能性が30%以上と予想される場合に発表する「異常天候早期警戒情報」も季節予報の1つです。原則として月曜日と木曜日の14時30分に発表しています。

季節予報は様々な社会・経済活動で利用されており、例えば、天候の影響を大きく受ける農業においては、栽培品種の選定、作付等の農事計画、収穫期の予測等に、また、製造業では商品の企画、原料・資材の手配、生産需給、販売計画等に活用されています。

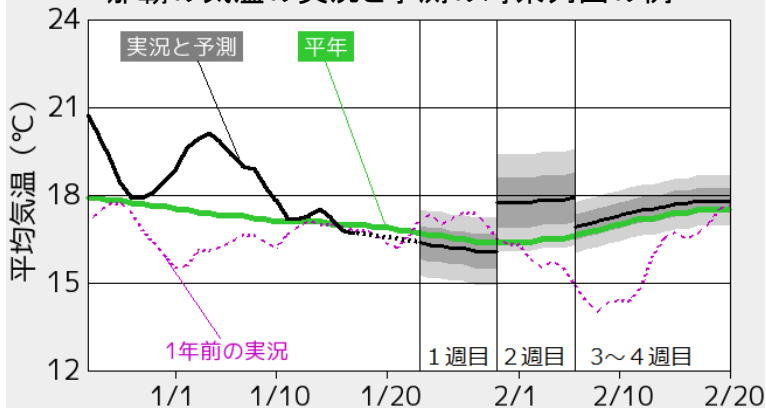
以下に、1か月予報の解説資料の一部(2016年1月21日発表)を示します。

沖縄地方の向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間の確率予測の例



気象庁マスコットキャラクターはれるん

那覇の気温の実況と予測の時系列図の例



1か月予報では、沖縄地方の平均気温・降水量・日照時間について確率的な予測を行っています。また、週別の平均気温の予測に基き、沖縄県内の各地点(7地点)の最近の実況と向こう1か月の気温経過を時系列で示したグラフも提供しており、平年値(及び1年前の値)と比べてどの程度異なるかを確認することができます。

信頼の程度が40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は7日平均気温です。